



ながさき教育通信

長崎県教育庁働きがい推進室
電話/095-894-3331 メール/s40190@pref.nagasaki.lg.jp

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

公式 YouTube



公式YouTubeチャンネルを開設しました!ぜひチェックをお願いします!

公式 Instagram



「学校のネタ帳」をテーマに長崎の学校の話をお届けしています

デジタル教育教材 GIGAワークブックながさき

「情報モラル」と「情報活用」に焦点を当てた活用型情報モラル教材「GIGAワークブックながさき」。長崎県とLINEみらい財団が提携して作成し2025年度から本格始動します。

GIGAワークブックながさきとは?

デジタル社会で生きるために必要な「情報を上手に活用する力」、「情報のリスクに対応する力」を育む情報モラル教育教材です。これまで活用してきた「SNSノート・ながさき」から更新。子どもたちのSNS利用率なども掲載し、ネットやスマホとの付き合い方を考えるきっかけになります。長崎県教育庁児童生徒支援課ホームページで公開しており、ダウンロードも可能です。

GIGAワークブック
ながさきHP

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoikubunka/gakkokyoiku/giga-workbooknagasaki/>



特徴



1

各自のタブレットから主体的に学べます。小学校低学年、高学年、中学～高校の段階別に教材を用意し、毎年度アップデートします。

2

授業1コマ版(45,50分)以外に15分版もあり、タブレットを使用する場面ですぐに実施できるので、授業時間に合わせて学べます。

3

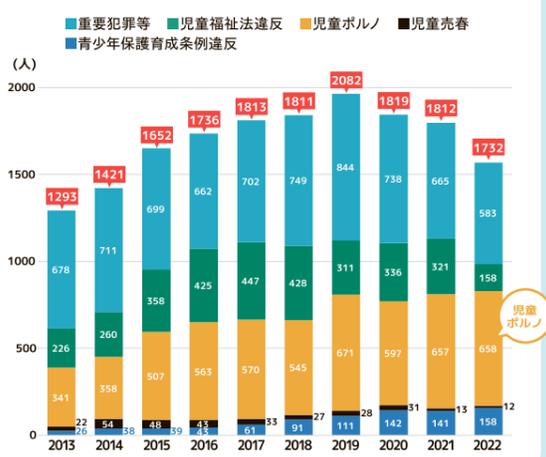
ネットの特性や適切なコミュニケーション方法などを学ぶ「情報モラル」、情報を適切に利用し活用できる力を育む「情報活用」をセットで学べます。



SNSに起因した子どもの被害状況

【2022年】全国:1,732人 長崎県:20人

【SNSに起因する事犯】罪種別の被害児童数の推移



2022年、県内の被害者20人の内、フィルタリングの設定をしていたのは1人で、児童ポルノ被害は増加の傾向です。トラブルや犯罪に巻き込まれないように、情報活用能力を身につける必要があります。

長崎県の子どもの現状

携帯電話(スマホ含む)所持率



2023年度は小学校高学年で約55%、中学生では70~80%、高校生はほぼ全員が所持しており、年々増加しています。

てんしこぼん

SNS(LINE等)利用率

5年前に比べて小・中学生の利用が増加。2023年度は小学高学年は約60%、中学生は約90%、高校生はほぼ全員が利用しています。



ちやいなこぼん

携帯電話(スマホ含む)使用時間割合



小学校高学年は30分未満、中学・高校生は1~2時間の使用割合が多いですが、学年が上がるにつれて長時間になっています。

なんぼんこぼん

オンライン 2025年度(追加募集) 個人面接 長崎県立学校教員採用特別選考試験

高等学校教諭 ()は採用予定者数

国語(2)、英語(5)、理科【化学(2)】、商業(2)、情報(3)、工業【機械(3)、電気(3)、土木(2)、工業化学(1)】、水産【機関(1)】

特別支援学校教諭 ()は採用予定者数

小学部(8)、中学部・高等部(12)

出願資格 ※詳細は募集要項を確認

- 志願する校種・職・教科の普通免許状を有し、国公立を問わず、本務教員としての教職経験を3年以上有する人
- 上記以外に英語、情報において特定の資格等を有する人

出願期間 ~2024年12月6日(金)
※出願締切日必着、持参の場合は午後5時まで

選考試験 2024年12月15日(日) 午前9時30分~
※12月14日(土)に接続テストを実施

合格者発表 2025年1月17日(金)
午前10時頃

募集要項の詳細はコチラ→



Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは
長崎県立佐世保商業高校の

前田玲子先生

成長する姿を間近で見たい



前田先生ってどんな先生?

商業科教諭として財務会計、マーケティングといったカリキュラムを担当。事務職員と講師を経て教員になり、現在16年目です。

先生のリフレッシュ方法

休日に2人の子ともと出かけること。あとは、通勤中に音楽を聴いてオンとオフを切り替えています。

教員を目指したきっかけは

高校で学んだ商業の授業が楽しかったからです。当時からパソコンに触れる機会が多く、得意でした。高校で学ぶうちに商業科の教員を志す気持ちが出てきて、地元の大学の経済学部に進学。そこで、人を育てる仕事、人の成長に関わる仕事に就きたいと強く思うようになりました。

この仕事に就いて良かったと思うとき

商業クラブで顧問をしていて、生徒が商業の学びを生かして地域貢献活動に取り組むことをサポートしています。クラブの具体的な活動は、地域活性化のためのイベントの企画や、地元企業との商品開発などです。地域の方と共に生徒がビジネスを楽しみ、成長している姿を間近で見ることがうれしいです。

これまでの経験から感じていることは

事務職員や講師などを経験した6年間は、さまざまな学校で経験を積むことができました。当時は教員の採用が少ない時代で、正式採用までに時間はかかりましたが、初めて担任を持った時は特別にやりがいを感じました。教師の夢を持っている方は、講師などを経験しながら諦めずに採用試験に挑戦してほしいです。